



I 第22週の発生動向 (2018/5/28~2018/6/3)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型3人、B型6人でした。

II 第22週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点			
小児科 内科	インフルエンザ																
	2	0.15							7	0.78			9	0.14	-4		
小児科	RSウイルス感染症		2	0.22	2	0.20	1	0.20	2	0.33	1	0.25	8	0.19	4		
	咽頭結膜熱		1	0.13	7	0.78	3	0.30	1	0.20		3	0.75	15	0.36	0	
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎		25	3.13	3	0.33	28	2.80	3	0.60	15	2.50	8	2.00	82	1.95	0
	感染性胃腸炎		61	7.63	58	6.44	76	7.60	50	10.00	20	3.33	19	4.75	284	6.76	-9
	水痘		3	0.38	1	0.11	3	0.30			7	1.17			14	0.33	-1
	手足口病		1	0.13	16	1.78	2	0.20	1	0.20					20	0.48	-2
	伝染性紅斑																-2
	突発性発しん		2	0.25	2	0.22	15	1.50	3	0.60	1	0.17	1	0.25	24	0.57	0
	ヘルパンギーナ				2	0.22									2	0.05	2
	流行性耳下腺炎				3	0.33	22	2.20			8	1.33			33	0.79	21
眼科	急性出血性結膜炎			1	0.33									1	0.09	1	
	流行性角結膜炎					1	0.50			2	1.00			3	0.27	-6	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-7	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	-1	
	無菌性髄膜炎															0	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

流行性角結膜炎 (五類定点把握対象疾患)

流行性角結膜炎は数種のアデノウイルスによる眼の感染症で、主に手を介した接触により感染します。「はやり目」とも呼ばれています。青森県では、年間を通して患者報告があり(図)、年齢による発症の差はほとんどなく、どの年齢でも発症します。

アデノウイルスの感染力は非常に強いため、両目とも感染する場合もあり、約1~2週間の潜伏期の後、結膜の充血、涙、めやに、まぶたの腫れなどが強くあらわれます。流行性角結膜炎に特效薬はなく、対症療法的に抗炎症剤の点眼と細菌による二次感染を防ぐための点眼を行うことがあります。

このウイルスは、眼をさわった手や眼を拭いたタオルなどを介して感染することがほとんどです。**感染を予防するには、よく手を洗うことやタオルなどの共用を避けることが重要です。**また、流行性角結膜炎を発症した後も2週間程度はウイルスを排出し続けることがあります。感染を広げないために、ティッシュペーパーなどの使い捨ての目薬を拭き、タオルなどは家族とは別のものを使い、お風呂は最後に入るようにしましょう。

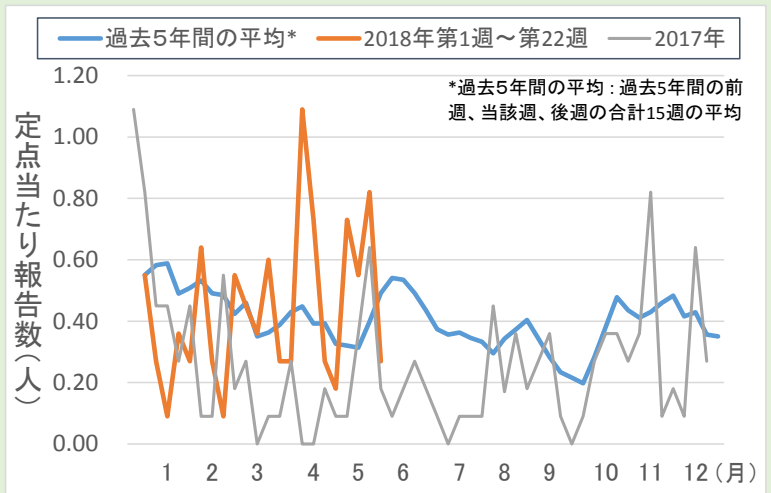


図: 青森県における定点当たり報告数推移 (2017年~2018年第22週現在)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [流行性角結膜炎とは \(国立感染症研究所 HP\)](http://www.niid.ac.jp/ja/infection/01/01_01.html)

🔍 はやり目 国立感染症研究所 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、三戸地方1人、五所川原1人（2018年計：78人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人（2018年計：11人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

麻しん疑い患者（咽頭ぬぐい液、5/1）・・・ヒトライノウイルスA：八戸市1人
 上気道炎患者（咽頭ぬぐい液、5/1）・・・HHV7：八戸市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第19週～2018年第22週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	百日咳1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
20	H30.5.14 ~ H30.5.20	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 水痘(入院例)1人				
21	H30.5.21 ~ H30.5.27	つつが虫病1人 百日咳1人	百日咳2人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	
22	H30.5.28 ~ H30.6.3	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人				

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第19週～2018年第22週)

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	1	3	2			
20	H30.5.14 ~ H30.5.20		2	1		1	1
21	H30.5.21 ~ H30.5.27		1		1	1	
22	H30.5.28 ~ H30.6.3	1	1	1	1		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第21週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	8204	2	73	464	18	9	160	331	4	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	類鼻疽	レジオネラ症
累積報告数	1	24	70	49	48	1	2	17	1	487

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	320	74	634	6	327	7	82	333	478	32

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	198	17	1723	159	2444	70	37	21	1739	32

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	164	8

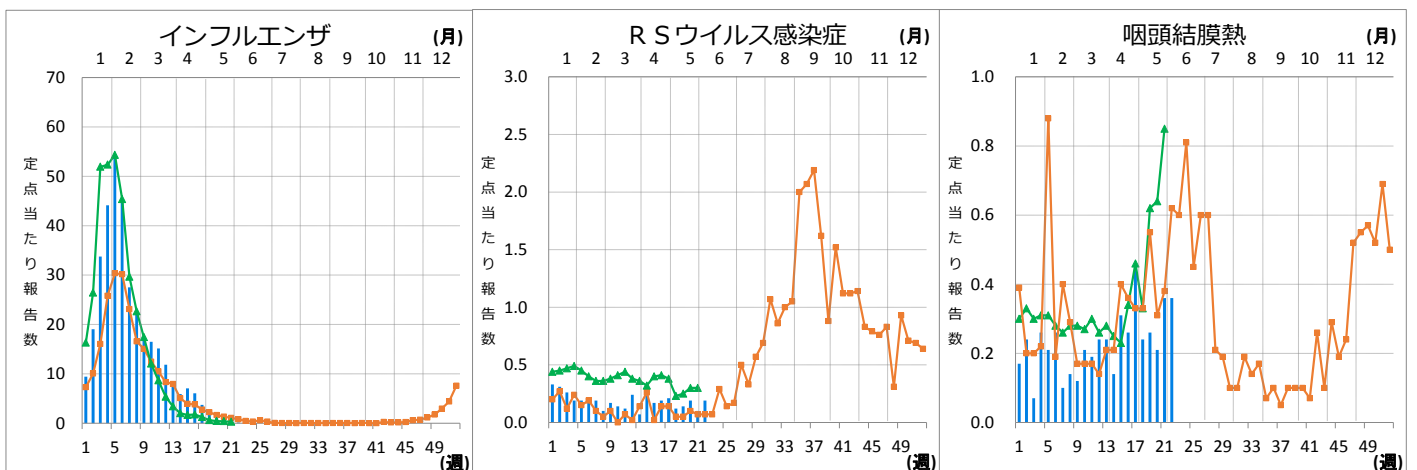
青森県（2018年第1週～2018年第22週までの累計）

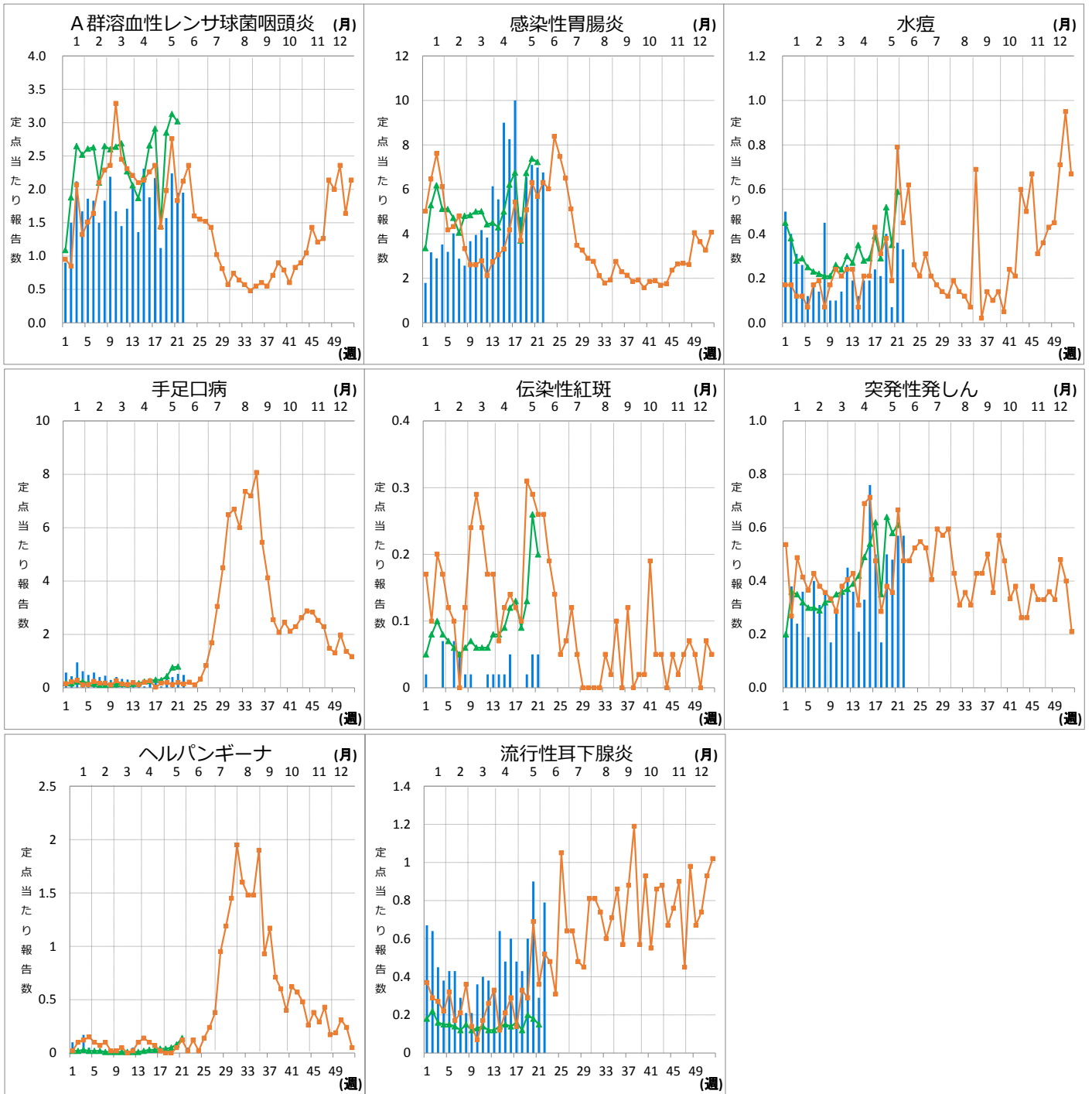
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	78	3	4	1	2	2	1	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	2	7	2	15	3	18

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第22週、ただし全国は前週）

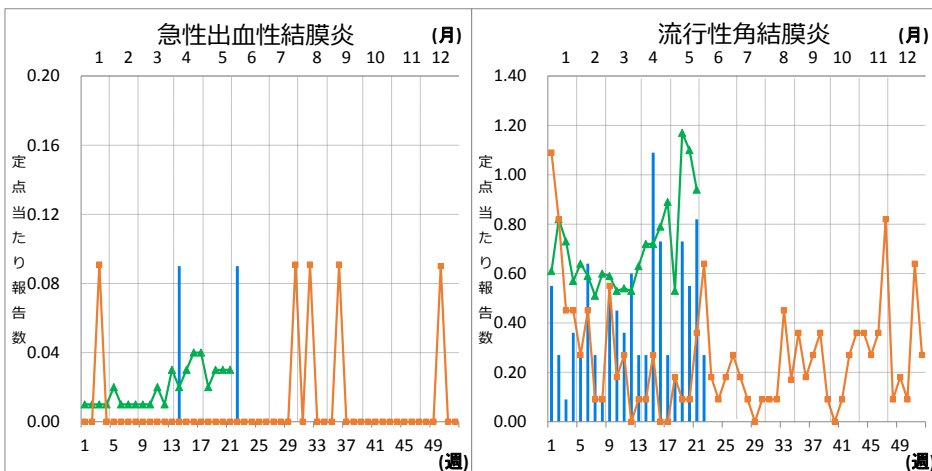
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





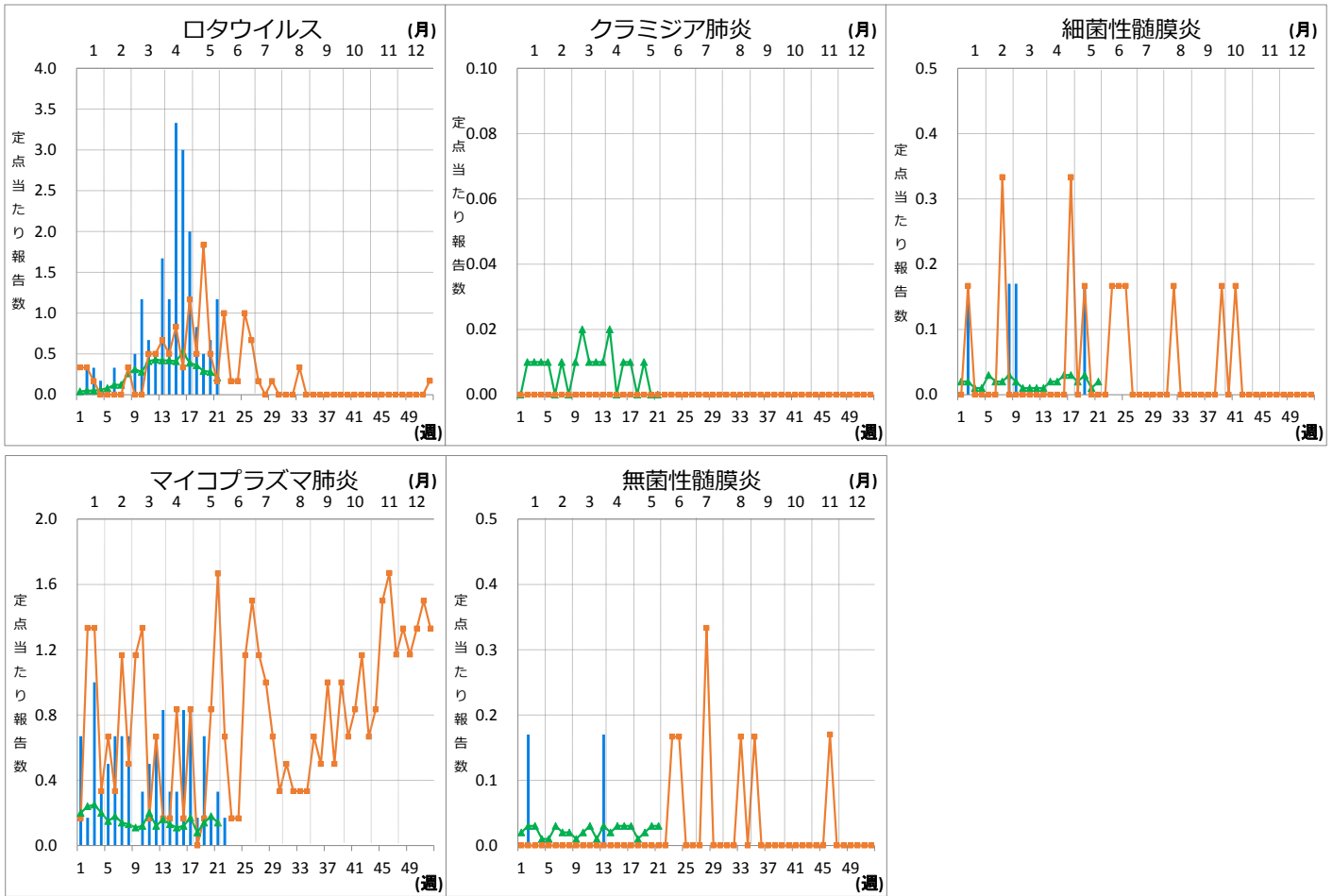
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第22週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■— は 2018年青森県、 ■——■ は 2017年青森県、 ▲——▲ は 2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第22週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第22週	児童・婦人関係施設等	16	弘前保健所

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	1	7
	発症者数	0	0	0	56	21	16	93
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	1	13
	発症者数	56	15	36	56	21	16	200